

## 会員満足度と組織率の向上を決意

### 平成22年度補助金予算を県に要望

沖縄県商工会連合会（上原義雄会長）は10月29日、沖縄県観光商工部（勝目和夫部長）を訪ね、平成22年度・小規模事業経営支援事業費補助金（商工会特別事業を含む）要望書を提出した。要望に際し上原会長は、「地域経済団体の役割を担っている商工会は零細企業を中心にきめ細やかな経営支援を行い、その結果を地域の活性化に結び付けようとして努力している」と勝目部長に述べた。これに対し勝目部長は、「中小零細企業を支援するために県は今年3月、中小振興条例を制定した。今年度から事業棚卸等が始まり各事業の必要性と効果を問われているが、今後も小規模零細企業に対する事業支援を続けていく」と述べた。

要望終了後、上原会長は来年度に向け「会員サービスの満足度、組織率の向上と2万人会員達成を目指したい」と活性化策を述べた。



平成22年度の県補助金要望書を勝目部長に提出する上原会長



予算要望概要の説明会

「農商工連携マッチングフェア in 那覇」を去る10月23日（金）に沖縄の産業まつりと同時開催しました。モクモク手作りファームの吉田修氏（よしだおさむ）氏の基調講演とグループ別マッチングに多くの企業が参加しました。（延べ企業数約150社が参加）

### 最近よく農商工連携って聞くけどなぜこれが必要なの？

それは、ものづくり産業の優れた技術を有する中小企業者等と、地域を支える農林水産業にかかわる農林水産業者が新たに出会うことで、その有する強みを持ちより、互いの情報交換やビジネスマッチングの推進、農商工連携による新規事業を発掘することで新たな雇用の拡大や地域経済の活性化が期待できるのでとても重要な取組みだからです。

次回は、2月の初旬に北部地区で「農商工連携マッチングフェア in 名護」の開催を予定しています。詳しくは沖縄県商工会連合会のホームページをご覧ください。



「農商工連携マッチングフェア in 那覇」会場